



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファンケル  
コード番号 4921 URL <http://www.fancl.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)成松 義文  
問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長 (氏名)島田 和幸 TEL 045-226-1200  
四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	20,205	△6.9	210	△78.9	273	△71.4	46	△88.9
24年3月期第1四半期	21,706	△7.2	1,001	△52.9	956	△53.7	415	△48.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 55百万円(△86.7%) 24年3月期第1四半期 414百万円(△50.4%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第1四半期	0	.71	0	.71
24年3月期第1四半期	6	.40	6	.38

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
25年3月期第1四半期	90,454		77,764		85.6	
24年3月期	91,739		78,796		85.5	

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 77,405百万円 24年3月期 78,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—		17.00		17.00	34.00
25年3月期	—					
25年3月期(予想)			17.00		17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	42,700	△2.8	930	△38.9	930	△36.7	650	△18.9	10	.02
通期	87,000	△1.3	4,200	4.6	4,200	4.9	2,100	△14.4	32	.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期1Q	65,176,600株	24年3月期	65,176,600株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	291,325株	24年3月期	291,185株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期1Q	64,885,331株	24年3月期1Q	64,934,601株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 5 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速により低迷が続いていた輸出が徐々に持ち直しつつあり、内需はエコカー補助金など政策効果もあり個人消費が緩やかに増加し、また復興関連需要を背景に公共投資も堅調に推移するなど、全体としては緩やかながらも回復基調が続いております。

当社は平成24年2月1日付で㈱いいもの王国(現:㈱いいもの不動産)の雑貨販売事業を当企業集団外に譲渡いたしました。業績の状況においては、より実態に即した分析を行うため、前第1四半期連結累計期間、当第1四半期連結累計期間とも、㈱いいもの王国(現:㈱いいもの不動産)を連結していなかった前提(以下、「組替後」といいます。)に組み替えて比較しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、平成24年3月にファンケル化粧品のブランドの再構築(以下、「リブランディング」といいます。)を行ったことにより、化粧品関連事業が増収となったものの、栄養補助食品関連事業が減収となったことにより、全体では20,205百万円(前年同期比0.2%減)となりました。損益面では、ファンケル化粧品のリブランディングに伴い、マーケティング費用が増加した結果、営業利益は210百万円(前年同期比80.4%減)、経常利益は273百万円(前年同期比73.6%減)、四半期純利益は101百万円(前年同期比79.6%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は11,333百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

	平成24年3月期 前第1四半期連結累計期間 (組替後)		平成25年3月期 当第1四半期連結累計期間 (組替後)		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	8,717	78.9	8,933	78.8	2.5
アテニア化粧品	1,990	18.0	1,909	16.9	△4.1
その他	342	3.1	490	4.3	43.5
合計	11,049	100.0	11,333	100.0	2.6

	平成24年3月期 前第1四半期連結累計期間 (組替後)		平成25年3月期 当第1四半期連結累計期間 (組替後)		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	5,500	49.8	5,511	48.6	0.2
店舗販売	3,655	33.1	3,855	34.0	5.5
卸販売他	571	5.2	692	6.1	21.0
海外	1,321	11.9	1,274	11.3	△3.6
合計	11,049	100.0	11,333	100.0	2.6

ファンケル化粧品は、平成24年3月に発売した「新無添加スキンケア」への既存のお客様の移行が順調に進み、8,933百万円(前年同期比2.5%増)となりました。今後は、より多くのお客様にご愛用いただけるよう営業戦略の強化を図ってまいります。

販売チャネル別では、通信販売は5,511百万円(前年同期比0.2%増)、店舗販売は3,855百万円(前年同期比5.5%増)、卸販売他は692百万円(前年同期比21.0%増)、海外は1,274百万円(前年同期比3.6%減)となりました。

営業損益

損益面では、増収となったものの、ファンケル化粧品のリブランディングに伴い、TVCMや大規模なサンプル製品配布キャンペーンの実施などマーケティング費用が増加した結果、営業利益は339百万円(前年同期比73.3%減)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は6,431百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

	平成24年3月期 前第1四半期連結累計期間 (組替後)		平成25年3月期 当第1四半期連結累計期間 (組替後)		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	2,804	41.4	2,567	39.9	△8.5
店舗販売	1,634	24.1	1,471	22.9	△10.0
卸販売他	1,610	23.8	1,862	29.0	15.7
海外	725	10.7	529	8.2	△26.9
合計	6,775	100.0	6,431	100.0	△5.1

製品面では、ダイエットサプリメント「カロリミット」が引き続き好調だったものの、その他の製品が振るわず減収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は2,567百万円(前年同期比8.5%減)、店舗販売は1,471百万円(前年同期比10.0%減)、卸販売他は1,862百万円(前年同期比15.7%増)、海外は529百万円(前年同期比26.9%減)となりました。

営業損益

損益面では、減収となったものの、マーケティング費用が減少したことにより、営業利益は324百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

③ その他

売上高

その他の売上高は2,440百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

	平成24年3月期 前第1四半期連結累計期間 (組替後)	平成25年3月期 当第1四半期連結累計期間 (組替後)	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米事業	716	749	4.6
青汁事業	865	830	△4.0
その他の事業	834	859	3.0
合計	2,417	2,440	1.0

**発芽米事業**は、通信販売および卸販売他が好調に推移し、749百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

**青汁事業**は、主力の「ケールまるごと搾り」が堅調だったものの、その他の製品が振るわず、830百万円(前年同期比4.0%減)となりました。

**その他の事業**は、雑貨および肌着事業が増収となったことにより、859百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

営業損益

損益面では、雑貨事業の収益性の改善などにより、営業損失は前年同期に比べて46百万円縮小し、45百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前連結会計年度末に比べて1,284百万円減少し、90,454百万円となりました。この要因は、流動資産の減少1,502百万円および固定資産の増加218百万円であります。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少1,788百万円および有価証券の減少983百万円と受取手形及び売掛金の増加457百万円および前払費用の増加などによる流動資産「その他」の増加473百万円であります。固定資産の増加の主な要因は、ソフトウェアの取得などによる無形固定資産の増加127百万円および投資有価証券の増加などによる投資その他の資産の増加211百万円と減価償却の実施による有形固定資産の減少121百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて252百万円減少し、12,690百万円となりました。この要因は、流動負債の減少274百万円および固定負債の増加22百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少462百万円、未払法人税等の減少157百万円および未払金の減少などによる流動負債「その他」の減少146百万円と賞与引当金の増加508百万円であります。固定負債の増加の主な要因は、退職給付引当金の増加37百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,032百万円減少し、77,764百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少1,103百万円と四半期純利益46百万円による増加であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べて0.1ポイント上昇し、85.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は22,265百万円となり、前連結会計年度末より2,790百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は554百万円(前年同期は148百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益255百万円、減価償却費788百万円および賞与引当金の増加508百万円などによる増加と、売上債権の増加457百万円、たな卸資産の増加390百万円、仕入債務の減少462百万円および法人税等の支払額585百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,257百万円(前年同期は607百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出464百万円、無形固定資産の取得による支出585百万円および関係会社株式の取得による支出203百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,020百万円(前年同期は1,062百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、配当金の支払額1,009百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成24年5月2日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,149	16,360
受取手形及び売掛金	9,289	9,746
有価証券	13,382	12,399
商品及び製品	2,851	2,999
仕掛品	62	95
原材料及び貯蔵品	3,363	3,574
その他	2,214	2,687
貸倒引当金	△147	△200
流動資産合計	49,165	47,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,549	22,636
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,968	△13,113
建物及び構築物(純額)	9,580	9,523
機械装置及び運搬具	6,297	6,389
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,926	△5,028
機械装置及び運搬具(純額)	1,370	1,361
工具、器具及び備品	6,947	7,038
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,740	△5,817
工具、器具及び備品(純額)	1,206	1,221
土地	10,059	10,059
リース資産	299	250
減価償却累計額及び減損損失累計額	△224	△183
リース資産(純額)	75	67
その他	75	13
有形固定資産合計	22,368	22,246
無形固定資産		
のれん	284	255
その他	3,898	4,054
無形固定資産合計	4,182	4,310
投資その他の資産		
投資有価証券	11,861	12,061
その他	4,160	4,172
投資その他の資産合計	16,022	16,234
固定資産合計	42,573	42,791
資産合計	91,739	90,454

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,952	1,489
未払法人税等	681	524
賞与引当金	945	1,453
ポイント引当金	1,380	1,366
資産除去債務	1	—
その他	5,529	5,382
流動負債合計	10,490	10,216
固定負債		
退職給付引当金	1,603	1,640
役員退職慰労引当金	117	122
資産除去債務	478	480
その他	251	230
固定負債合計	2,451	2,473
負債合計	12,942	12,690
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	56,317	55,260
自己株式	△360	△360
株主資本合計	78,458	77,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	4
その他の包括利益累計額合計	△4	4
新株予約権	343	358
純資産合計	78,796	77,764
負債純資産合計	91,739	90,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	21,706	20,205
売上原価	7,173	6,457
売上総利益	14,532	13,747
販売費及び一般管理費	13,530	13,536
営業利益	1,001	210
営業外収益		
受取利息	17	24
受取配当金	1	0
為替差益	11	50
保険返戻金	15	—
雑収入	30	54
営業外収益合計	74	130
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	101	57
雑損失	17	11
営業外費用合計	119	68
経常利益	956	273
特別利益		
固定資産売却益	3	—
貸倒引当金戻入額	125	—
特別利益合計	128	—
特別損失		
固定資産売却損	3	—
固定資産除却損	0	5
減損損失	11	—
店舗閉鎖損失	24	13
抱合せ株式消滅差損	143	—
その他	24	0
特別損失合計	206	18
税金等調整前四半期純利益	877	255
法人税、住民税及び事業税	378	404
法人税等調整額	83	△195
法人税等合計	462	209
少数株主損益調整前四半期純利益	415	46
四半期純利益	415	46

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	415	46
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	8
その他の包括利益合計	△1	8
四半期包括利益	414	55
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	414	55
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	877	255
減価償却費	767	788
減損損失	11	—
株式報酬費用	—	15
のれん償却額	28	28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14	53
賞与引当金の増減額(△は減少)	459	508
ポイント引当金の増減額(△は減少)	10	△14
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△468	37
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	4
受取利息及び受取配当金	△18	△25
為替差損益(△は益)	△13	△51
投資有価証券評価損益(△は益)	1	—
固定資産売却損益(△は益)	△0	—
固定資産除却損	0	5
店舗閉鎖損失	24	13
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	143	—
売上債権の増減額(△は増加)	△66	△457
たな卸資産の増減額(△は増加)	△101	△390
その他の流動資産の増減額(△は増加)	111	△285
その他の固定資産の増減額(△は増加)	0	3
仕入債務の増減額(△は減少)	△861	△462
その他の流動負債の増減額(△は減少)	784	12
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△9	△12
その他	△4	△7
小計	1,667	19
利息及び配当金の受取額	12	11
法人税等の支払額	△1,531	△585
営業活動によるキャッシュ・フロー	148	△554
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却及び償還による収入	1,502	—
有形固定資産の取得による支出	△555	△464
有形固定資産の売却による収入	29	—
無形固定資産の取得による支出	△510	△585
関係会社株式の取得による支出	—	△203
貸付けによる支出	—	△25
貸付金の回収による収入	0	29
その他の支出	△10	△20
その他の収入	151	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	607	△1,257
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の処分による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△53	△0
配当金の支払額	△993	△1,009
その他	△15	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,062	△1,020
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	40
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△294	△2,790
現金及び現金同等物の期首残高	28,070	25,056
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	34	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,809	22,265

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,066	6,778	17,844	3,862	21,706	—	21,706
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,066	6,778	17,844	3,862	21,706	—	21,706
セグメント利益又は損失(△)	1,282	305	1,588	△179	1,408	△407	1,001

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類・健康器具・家庭用雑貨の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△407百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,333	6,431	17,765	2,440	20,205	—	20,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,333	6,431	17,765	2,440	20,205	—	20,205
セグメント利益又は損失(△)	339	324	664	△45	619	△408	210

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△408百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。